

人材

CHROメッセージ



価値創造の源泉である“人”のポテンシャルを最大限に活かす改革に挑戦していきます

執行役員
チーフヒューマンリソースオフィサー(CHRO)

平岡 朋代

誰もが前向きに成長し続けることができる環境づくりを

三菱ケミカルグループにとって、人材は価値創造の源泉であり、企業としての成長やKAITEKI実現の原動力そのものです。従業員一人ひとりの可能性は無限大であり、そのポテンシャルを開花させ、誰もが前向きに成長し続けることができる会社に近付けていくことが私のミッションです。

この使命を果たすため、中長期経営基本戦略「KAITEKI Vision 30」(KV30)で定めた方針のもと、各社の人事制度改革に取り組み、属性によらない処遇、主体的なキャリア形成、働き方改革などを実現してきました。その結果、従業員がこれまで以上に「働くことの意味」「どんなキャリアを歩みたいか」について考えるようになり、新たなチャレンジに自発的に踏み出す機会の創出につながっていると感じています。また、会社と個人がともに成長し続けるために、次世代変革リーダー育成プログラムの充

実、e-ラーニングプラットフォームの整備、ダイバーシティ&インクルージョン促進につながる企業風土の変革のためのセミナー、メンタリングなど、人材や風土改革への投資を積極的に行っています。経営課題の解決力やリーダーシップの強化に加えて、個人のキャリア志向に沿って選択可能なプログラムを増やすことで、個の意思を尊重しながら成長を会社が後押ししていく環境づくりを大きな狙いとしています。会社の成長は、従業員一人ひとりの貢献や成長の総和です。これからも価値創造の原点である人的資本の強化施策をグループ全体に展開していきたいと考えています。

「One Company, One Team」の実践に向けた取り組みを加速

2022年度は、新経営方針「Forging the future 未来を拓く」の実現につながる「One Company, One Team」を新組織で実践し

ていく年になります。具体的には、これまでの個社最適から、今後は法人の垣根を越えて事業や地域を単位にしたマネジメント体制にすることで、情報伝達と意志決定の迅速化や協働の促進を目的とした体制に変わっていきます。また、コーポレート機能については、グローバルでレポートラインを一本化していくほか、グループ会社のガバナンス体制を統一することにより、さらなる効率化を進めていきます。この新たなマネジメント体制を浸透させ、グローバルで“One”となり、さらなる高度化・効率化を実現していくために、グローバルレベルで人材、組織、ポジションや職務を可視化する人事基盤統合システムへの投資、タレントの発掘・早期育成と後継者計画の策定、多様な人材が集いポテンシャルを最大限発揮できる組織風土の醸成などを実現し、成長と効率化の両面に取り組んでいきます。特に後継者計画については、指名委員会と連携を深めることで、社外のステークホルダーの要請を取り入れた、従来にはない大胆な配置と育成を実行していきます。

大きな変革を進めていくということは、個々の従業員に意識や行動の変容を求めることとなります。従って、この変革に挑戦していくことが、従業員自身のモチベーションややりがいを高め、一人ひとりの成長実感につながっていく、そんな期待感や確信を醸成できるようなコミュニケーションに努めていきたいと考えています。2022年度はKV30で掲げた5つの柱を引き続き推進し、「One Company, One Team」の真の実現を最優先課題と位置付け、従業員とともに、各施策の着実な遂行に努めていきます。